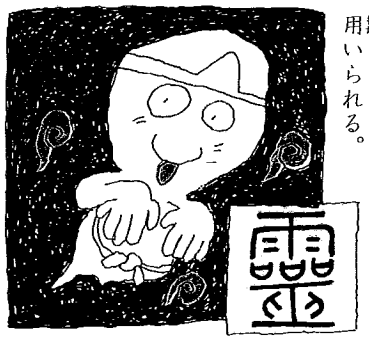
霊

おん レイ・リョウ
くん たま

15画 ⺻ 雨 雨 雨 雨 霊 霊 はねる

なりたち 旧字体は靈。神霊を呼び出し神意（神の意志）を伺う巫（こみ）と、□□□（多くの声）と雨との会意形声字。雨乞（あまご）いのために巫が神霊を呼び出すことを表した字。〃神霊・神・霊魂（たましい）〃などの意味に用いられる。



いみとじゅくご

▼神霊。神。神秘的な存在。

霊気…神秘的な気配。**用例** 山の霊気を感じる。

霊験…神仏の神秘的な働き。祈りに対する御利益。**用例** 霊験あらたか。（霊験が著しい。）

霊鳥…不思議なめでたい鳥。伝説上の鳳凰（ほうおう）など。

霊地…神聖な土地。神仏が祭られている土地。霊場。

▼魂。死者の魂。

霊魂…魂。肉体とは別に存在し、生命の実体として不滅であると考えられているもの。

幽霊…❶死者の魂がこの世にさまよい出たもの。❷実際には無いのに有るように見せかけたもの。**例** 幽霊会社

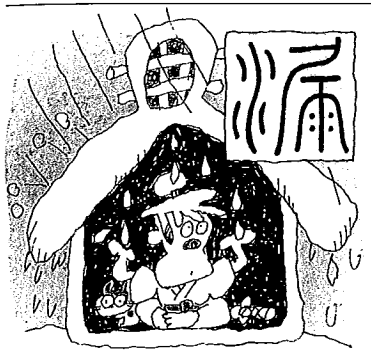
よみかた 霊界・霊前・霊長・霊媒・悪霊・英霊・亡霊

漏

おん ロウ
くん もる・もれる・もらす

14画 ⺡ ⺡ 涓 漏 漏 漏 はねる

なりたち 本字は屚。屋根の意味の尸（しかばね）と雨との会意字。屋根から雨が家の中に入ることを表した字。雨が〃もる〃こと。〃もれる・もらす〃こと。今の字は、屚と氵（さんずい）との会意形声字。



いみとじゅくご

▼漏る。漏れる。漏らす。

漏水…水が漏れること。また、漏れた水。

漏電…配線の絶縁が悪くて、電気が他に漏れること。**用例** 漏電による火災が多い。

遺漏…考え漏らすこと。不注意で落ち漏らすこと。**用例** 万事、遺漏の無いように。

疎漏…いい加減なやり方で、手落ちがあること。「粗漏」とも書く。

脱漏…落ち漏れること。ぬけ落ちること。また、ぬけ落ちたもの。**用例** この写本には大幅な脱漏がある。

漏斗…口の小さい容器に液体を入れる時に使う道具。じょうご。

漏刻…水の漏れる量によって時を計った昔の水時計。

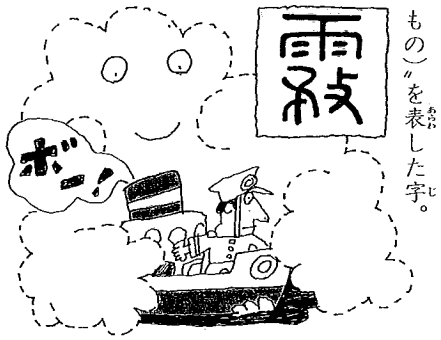
よみかた 雨漏り・粗漏

霧

おん ム
くん きり

19画 ⺻ 雨 雨 雨 霧 霧 霧 はねる

なりたち 古い字は霚、または、雺。冒（覆い隠す）の意味を仮借（かしゃ）した矛（ほう）（漢音。ムは呉音）と雨との形声字。物を覆い隠す〃きり（雨の粒の非常に細かくて地上を低く漂うもの）〃を表した字。



いみとじゅくご

▼霧。

霧雨…霧のように細かい雨。

霧笛…霧が深い時、衝突しないように、船や灯台が鳴らす汽笛やサイレン。

霧氷…霧などが氷点下の時、樹木や物の表面に凍り付いたもの。

濃霧…見通しがきかない程の濃い霧。**例** 濃霧注意報

霧中…霧の中。**例** 五里霧中（深い霧の中に居るように、迷って見当や判断がつかないこと。）

霧消…霧が風に吹き散らされて消えるように、すっかり消えて無くなること。**例** 雲散霧消

霧吹き…液体を霧のような細かい水滴にして吹き付けること。また、その道具。

よみかた 朝霧・噴霧器

務

【5年】

おん ム
くん つとめる

11画 ⺤ ⺤ 矛 矛 矛 務 はねる

なりたち 矛（こほ）と攵（ぼくづくり＝手に物を持つ形）との会意形声字である敄は、矛を手にして軍務に務めることを表した字。務は敄と力との会意形声字で、努力して軍務に務める意味。広く〃仕事に努力する〃意味。また、〃仕事〃の意味に用いる。

いみとじゅくご

▼務める。仕事に努力する。務め。仕事。

義務…当然やらなければならない務め。**用例** 義務と権利。

任務…その人に任された仕事。与えられ、果たさなければならない仕事。

職務…その人が受け持っている任務。役目。**例** 職務質問（警官が職務上行う質問。）

雑務…本来の仕事以外の、細細とした用事。

残務…残っている仕事。**例** 残務整理

激務…激しい（非常に忙しく大変な）仕事。「劇務」とも書く。

勤務…勤めて仕事をすること。また、その仕事。**例** 勤務中

兼務…本職以外の仕事を掛け持ちすること。

よみかた 債務・執務・庶務